

DESIGN VARIATION

デザインバリエーション

LESSON 05 版面設計のバリエーション

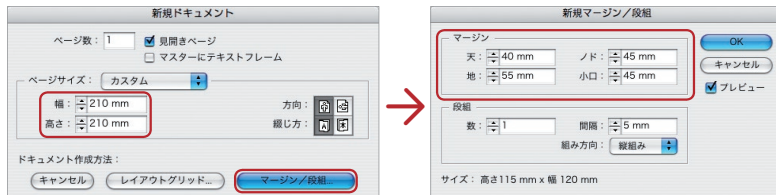
版面設計の基本となるのは、LESSONで紹介したグリッドシステムです。大きな破綻をきたすことなく、整然としたレイアウトが作成できます。しかしグリッドシステムにとらわれない自由度の高い版面設計で、優れたレイアウトを完成させることもできます。ここでは3パターンの版面設計の例を見てみましょう。

01 余白を活かした高級感のあるシューズカタログ

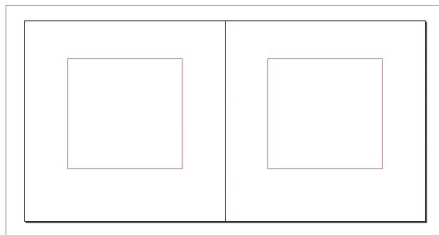
ページに配置する要素の数やボリュームが増えるほど、にぎやかで楽しい紙面となります。しかしその反面、個々の要素の印象は薄まってしまいがちです。個々の要素を際立たせるためには、配置する要素の数やボリュームをぎりぎりまで削ってシンプルに仕上げます。

作者：長井美樹
使用ソフト：Adobe InDesign 2.0

STEP.01 このカタログでは高級感を演出するとともに、商品をよりよく見せる工夫が必要です。そのため商品は1ページに1点のみと決め、使用する用紙をA4の天地をカットした正方形のサイズにしました。また、テキストの少ないページ物を作る場合は、LESSONで作成した[レイアウトグリッド]ではなく、[マージン／段組み]で新規ドキュメントを作成するとよいでしょう。



STEP.02 設定した[マージン／段組み]は、版面率 (P.89参照) を低く、余白を大きく取る設計になっています。また版面を上下の中央よりやや上に上げることで、スマートな印象を与え、手に取ったときに見やすいよう工夫しました。



STEP.03 まずは商品の切り抜き画像を用意し、右ページの版面の中に配置します。「切り抜き」とは四角や丸で写真をトリミングするのではなく、ものの形や任意の形で背景をなくしてしまうことを指します。



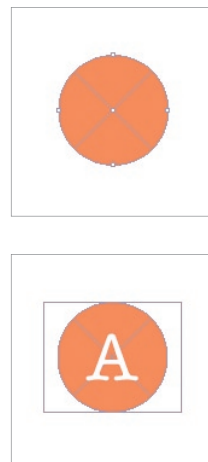
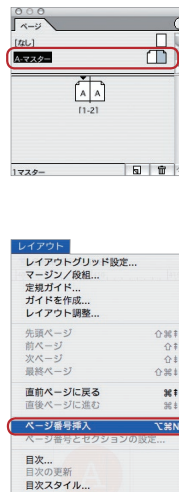
POINT 画像の切り抜き

画像を切り抜きで使用したい場合は、レイアウトソフトではなくPhotoshopで下処理をしておくてはなりません。InDesignやIllustratorでは、Photoshopの「透明」をそのまま保持することができませんので、背景を消して透明にし、Photoshop形式で保存しておけば切り抜き画像になります。

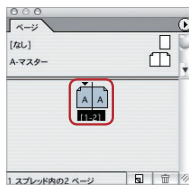
STEP.04 メインの商品のサイズを調整します。小さ過ぎるとこじんまりと見えてしまいますし、逆に大き過ぎると下品になりがちです。適当なサイズや位置が見つかるまで何度も調節します。この例では一番右が最もバランスの良いサイズと位置に思われます。



STEP.05 ノンブル (ページ番号) は、マスターページに作成します [ページ] パレットの [A- マスター] をダブルクリックしてマスターページを表示させます。[楕円ツール] で円を描いて色を設定し、その上にテキストフレームを作って [レイアウト] メニュー→ [ページ番号を挿入] を選択します。マスターページ上では「A」と入力されますが、ドキュメントでは自動的にページ番号が入ります。このテキストにもフォントなどの文字設定をしておきましょう。ノンブルは、左右両方のマスターページに入れておきます。



STEP.06 [ページ] パレットのドキュメントページをダブルクリックすると、元のドキュメントのレイアウト画面に戻ります。その他のテキスト要素を入力します。



STEP.07 左ページには写真画像を配置し、小さくキャッチコピーを入力します。右ページの商品を引き立たせるために、あえて写真は裁ち落とし (用紙の端) までの配置としました。マージン内に配置してしまうと、見開きで見たときに単調な印象になってしまいます。このように商品のイメージを表現するための画像のことを、「イメージカット」と呼びます。



STEP.08 同様にして次の見開きもレイアウトしてみました。メインとなる商品の大きさや位置は各ページで揃え、イメージカットはメリハリを付けるために、ページごとに配置やトリミングに変化を持たせています。商品の写真とイメージカットが交互に繰り返されることで、見る人がテンポよくページをめくっていくことができます。



POINT マスターページの役割

マスターページとは、多くのページで共通して使用するアイテムや、デザイン、レイアウト要素などを集中的に管理するためのページです。マスターページに配置した要素は「マスターアイテム」と呼ばれ、そのマスターページが適用されているドキュメントページのすべてに適用されます。マスターアイテムは、ドキュメント上で変更を加えることはできません。どうしても変更したい場合は、ドキュメント上で [選択ツール] を選び、マスターアイテムを [command] + [shift] + クリックで解除します。